

## がん疼痛治療アルゴリズム開発の目的

がん疼痛治療の「均てん化」を目指す  
専門家が委嘱床で行う治療内容の推奨(アルゴリズム)を明示する

一般病院  
療養病院  
在宅  
社会福祉施設

緩和ケアの専門家がいない場でも  
緩和ケアの専門家が行うがん疼痛治療を提供する

鎮痛薬の調整方法の明示  
副作用対策の明示

がん疼痛の標準治療の明示と  
鎮痛薬の過小治療の予防を目指す

オピオイドの正しい方

基本的緩和ケアの提供者(オンコロジストや在宅医など)が  
実臨床において使用しやすいアルゴリズムの開発が必要である

## がん疼痛治療アルゴリズムの使い方

## がん疼痛治療アルゴリズム(オピオイド使用開始の手引き)

がん疼痛治療アルゴリズム  
(オピオイド使用開始の手引き)

痛み・程度・性状の評価を  
毎回確認すること

厚生労働省科学研究補助金(がん対策推進総合研究事業)  
がん関連苦痛症状の体系的治療の確立と実践および  
専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究  
がん疼痛の体系的治療実践に関する研究小委員会  
第1版(2024年7月)



# がん疼痛治療アルゴリズム使用による効果

**⑥ 初回開始量**

オキシコドン	モルヒネ
<p>・ 癌が進行し、痛みが強い ・ 服用量を増やしても効果がなく、 ・ 副作用がひどい</p> <p>初回開始量</p> <p>内服 経口薬 125mg 1日2回 注射薬 10mg/1mL 1A+生食47mL 1回/日 0.5mL/回で服用 (0.5mg/日)</p> <p>PHN治療 注射薬 10mg/1mL 2A+生食6mL 1回/日 1.4mg/回で服用 (1.4mg/日)</p> <p>併用療法 注射薬 0.1mg/2mL 2A+生食6mL 1回/日 0.09mg/回で服用 (0.09mg/日)</p>	<p>・ 癌が進行し、痛みが強い ・ 服用量を増やしても効果がなく、 ・ 副作用がひどい</p> <p>初回開始量</p> <p>内服 経口薬 10mg 1日2回 注射薬 10mg/1mL 1A+生食47mL 1回/日 0.5mL/回で服用 (0.5mg/日)</p> <p>PHN治療 注射薬 10mg/1mL 2A+生食6mL 1回/日 1.4mg/回で服用 (1.4mg/日)</p> <p>併用療法 注射薬 0.1mg/2mL 2A+生食6mL 1回/日 0.09mg/回で服用 (0.09mg/日)</p>

**対象者背景 (n=26)**

臨床経験年数(平均 | 範囲) 7年 (3-37年)

専門分野

- 外科 9人 (36%)
- 内科 8人 (32%)
- 総合診療 6人 (24%)
- その他 2人 (8%)

アルゴリズム使用回数(平均 | 範囲) 2回 (1-13回)

**評価尺度**

評価尺度	使用前	使用后	P値
がん疼痛治療における困難感	5.60 ± 2.02	5.64 ± 1.96	0.93
緩和ケアに関する医師者の自信尺度	12.32 ± 2.41	13.76 ± 2.62	<0.01
PEACE-Q (緩和ケア研修会でのテスト)	9.12 ± 2.26	9.96 ± 1.86	0.01

## がん疼痛治療がうまくいかないとき

- ① 専門的緩和ケアに紹介
- ② 遠隔コンサルテーションサービスの利用

**専門的がん疼痛治療  
コンサルテーションサービス  
CHALLENGE-CanPain**

Consultation Hub of specialist through e-medicine of difficult-to-treat Cancer Pain.

専用システムで安全に情報を共有し  
診療経験が豊富な専門家にコンサルティングを依頼

患者様  
医師様  
コンサルタント